

## 生ごみ堆肥化容器設置費補助金交付対象者の使用状況アンケートの結果

平成26年11月 生活環境課

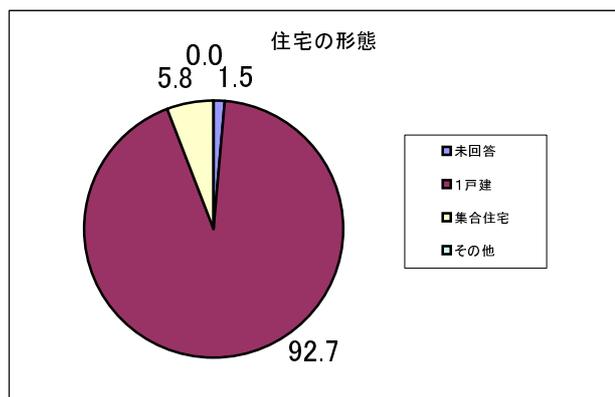
一般家庭から排出される生ごみの再生利用を促進し、可燃ごみの削減を図るために、堆肥化容器の購入費補助制度を活用された市民を対象に、アンケート調査を実施し、容器の使用状況や使用上の課題を明らかにし、よりいっそうの普及促進及びごみ減量施策の充実の参考にしようとアンケート調査を実施しました。

- 対象者 平成18年度以降補助金交付対象者、発送239件、回収137件、回収率57.3%
- 調査期間 平成26年4月23日発送、平成26年5月7日締切り
- 調査表の回収方法 返信用封筒を同封して、返送による回答を依頼しました。

### 質問1 お住まいの住宅の形態

生ごみ堆肥化容器の利用家庭の93%は1戸建ての住宅で、マンション等集合住宅は6%です。

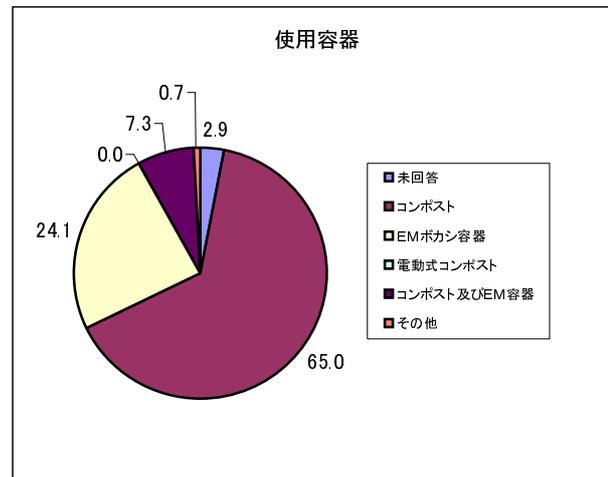
	回答数	割合(%)
1 未回答	2	1.5
2 1戸建	127	92.7
3 集合住宅	8	5.8
4 その他	0	0.0
合計	137	100.0



## 質問2 使用容器

堆肥化容器の種類は、コンポストが65%、EMぼかし容器が24.1%、併用が7.3%です。電動式コンポストはありませんでした。

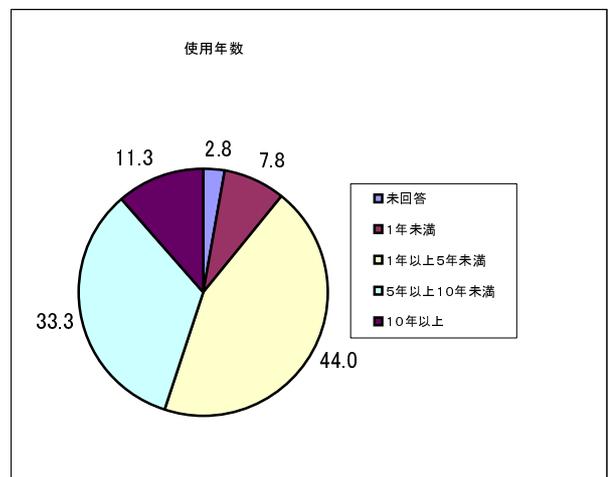
		回答数	割合(%)
1	未回答	4	2.9
2	コンポスト	89	65.0
3	EMボかし容器	33	24.1
4	電動式コンポスト	0	0.0
5	コンポスト及びEM容器	10	7.3
6	その他	1	0.7
	合計	137	100.0



## 質問3 堆肥化容器の使用年数

堆肥化容器の補助制度は平成5年から制度化し、21年経過しています。今回調査対象者は平成18年度以降の申請者で、8年経過していますが、5年以上の利用者が45%で、そのうち約80%の方が引き続き使用しています。

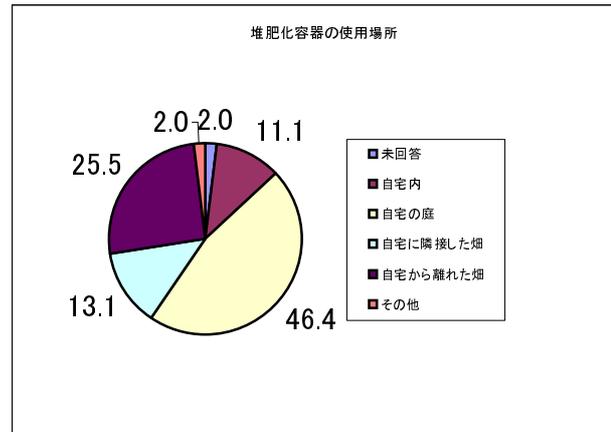
		回答数	割合(%)
0	未回答	4	2.8
1	1年未満	11	7.8
2	1年以上5年未満	62	44.0
3	5年以上10年未満	47	33.3
4	10年以上	16	11.3
5	不明	1	0.7
	合計	141	100.0



#### 質問4 堆肥化容器の使用場所

使用場所は70.6%の方が自宅または自宅の隣接した畑で、一方、27.5%自宅から離れた畑で使用しています。

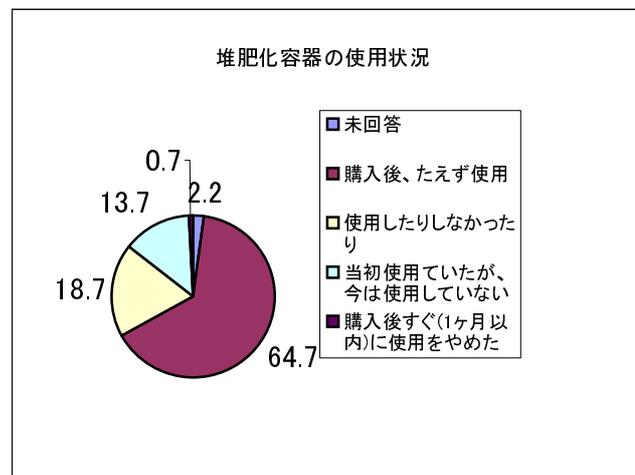
		回答数	割合(%)
1	未回答	3	2.0
2	自宅内	17	11.1
3	自宅の庭	71	46.4
4	自宅に隣接した畑	20	13.1
5	自宅から離れた畑	39	25.5
6	その他	3	2.0
	合計	153	100.0



#### 質問5 堆肥化容器の使用状況

購入後、たえず使用している方が64.7%に上っています。一方、使用していたが取りやめた方は、14.4%にとどまっています。

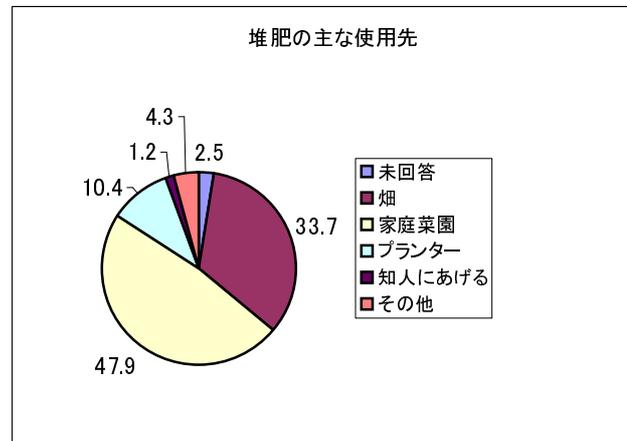
		回答数	割合(%)
1	未回答	3	2.2
2	購入後、たえず使用	90	64.7
3	使用したりしなかったり	26	18.7
4	当初使用していたが、今は使用していない	19	13.7
5	購入後すぐ(1ヶ月以内)に使用をやめた	1	0.7
	合計	139	100.0



### 質問6 堆肥の主な使用先

使用先は主に家庭の菜園やプランターで58.3%で、畑は33.7%です。

		回答数	割合(%)
1	未回答	4	2.5
2	畑	55	33.7
3	家庭菜園	78	47.9
4	プランター	17	10.4
5	知人にあげる	2	1.2
6	その他	7	4.3
	合計	163	100.0



### 質問9 1日あたりの処理量

1日あたりの生ごみの処理量は、一番多いのは300gで32.1%、次に500gが20.4%となっています。

		回答数	割合(%)
1	未回答	13	9.5
2	1日 500g	28	20.4
3	1日 400g	26	19.0
4	1日 300g	44	32.1
5	その他	16	11.7
6	不明	10	7.3
	合計	137	100.0

